



ようこそ！ 市長室へ

2



「豪雨災害」あの日を忘れない」

清しい五月晴れの季節を迎えました。同時に、梅雨近しです。そして、私たちが忘れてはならない「あの日」、7・15豪雨災害。犠牲になられた3人の方々と、平成11年にも豪雨で尊い命を亡くされた方に思いを馳せます。

2年続いた豪雨災害も昨年はありませんでした。今後も水害のないよう願う一方で、万が一のための準備、心構えを、この時期に再確認しておきたいものです。

自宅は浸水や土砂災害の危険があるか、避難が必要か、どこに避難するのか、避難経路は、夜間ならどうする、子どもの迎えは、勤務先や学校からの帰宅経路は安全か、等々万が一に備えて家族皆で、しっかり確認をしておきましょう。

また、災害時に助けの必要な方が、

近所に住んでみえるのか、その人が誰が支援するのか、連絡はどうするのか、なども話し合っておきたいと思えます。



昨年の水防訓練の様子（土のう作り）

コミュニティ放送局「FMらら」



災害に強く 76.8

も、災害時には大切な情報源です。ラジオがあれば、最新情報を即時に入手できます。車での移動中も、意外と遠くから電波をキャッチでき情報を入手できます。一度試してみてください、通行止めや経路の確認などに役立ててください。そのためには、日頃から放送を聴く習慣を身に付け、「FMらら」の周波数76.8MHzを、「災害に強く76.8」と覚えておいてください。

このような、水害への備えを年に1回、市民皆で確認するため、水防訓練を実施しています。毎年梅雨入り前の6月第1日曜に行います。今年は、6月2日です。ぜひ参加いただきたいと思えます。

災害などの非常時には互助が不可欠なことは、東日本大震災でも立証されました。行政は限られた人員で、



自然と人との共生モニュメントのしだれ桜

人命に関わるような被害に集中しなければなりません。そのため、日頃から、地域活動、自治会活動に参加して、コミュニティの一員としての絆をつくっておく努力も大切です。

昨年、多くの市民のご協力により完成した「自然と人との共生モニュメント」。傍らに植樹した「しだれ桜」が、今春、花を咲かせてくれました。二度と悲惨な犠牲を出さないことを、祈ってくれているように思いました。

可見市長 富田成輝